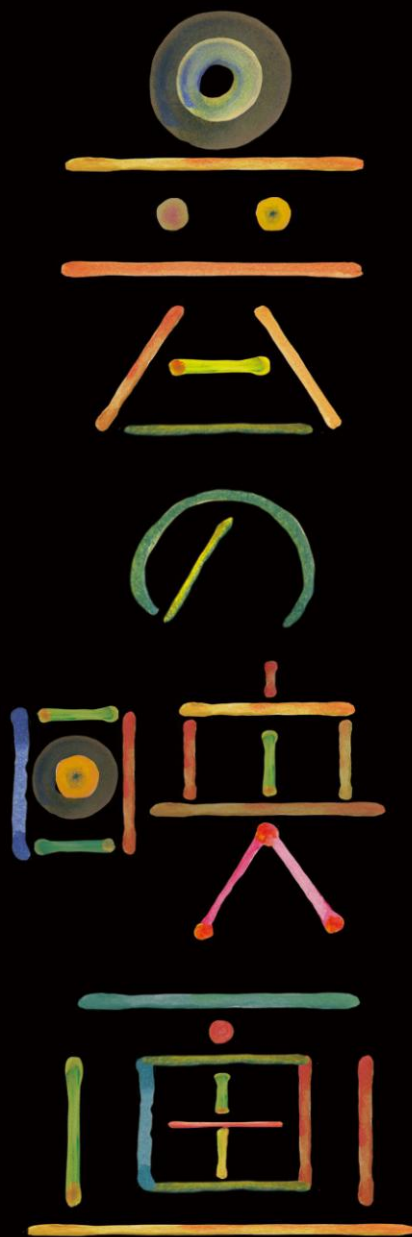


耳を澄まして見る、映像のない映画



"This is a sound only film"

これはおとだけのえいが
えいぞうはありませんまっくらです
でもあなたはいろんなひとびとや
ふうけいにてあうことができます
ふしぎなえいがです

えいがのぶたいはおかやまけんの
にほんごきょうしつ

ベトナム ミャンマー アメリカ フランス にほん
みんなであつまって

いっしょにうたをつくる

ドキュメンタリー・ミュージカル・フィルムです

Our Sounds

音の映画 Our Sounds

監督 ハブヒロシ

2022年/ 55分/ 日本/ ドキュメンタリー

Âm Thanh Của Chúng Ta Bộ Phim Thanh



Our Sounds

Âm Thanh Của Chúng Ta Bộ Phim Thanh

岡山県高梁市の日本語教室*に集まったメンバーたちの物語。
コロナ禍で失われつつあった豊かな生活を取り戻すために、私たちは共に一つの歌を作りました。
この映画は、そのささやかな出会いの航路を記録した、音だけのドキュメンタリー映画です。

映像はありません。

山間部の小さな町にも訪れているグローバル化の波。

そして、その境界で揺らぐ小さなくぼみ。

私たちは、そこから生まれる営み、対話、風景、響きを見つめ、祝福しました。

私たちは特別である必要はない。優れている必要はない。普通である必要もない。

属性を越えた、“いきもの”としての出会い。

この映画は、観てくれた人たちとの出会いを通して新たな対話が生まれることで、初めて動き出すのだと思います。

*日本語教室には技能実習生を中心に多様な背景をもった人たちが集まっています。外国人技能実習制度は日本の企業で技能を身に付けた外国人が母国の発展に寄与することを目標とされています。外国人を技能実習生として受け入れることにより、慢性的な人手不足の解消にも役立つと考えられる企業が増えている一方、技能実習生の待遇等问题視されることもあります。



音の映画 Our Sounds 予告編



上映スケジュール

3月25日(土) ~ 31日(金) 21:00より上映

※各日上映後、出演者による舞台挨拶や監督とゲストによるトークセッションがあります。(22:30終了予定)

3月25日(土) 出演者舞台挨拶

3月26日(日) 諏訪敦彦(映画監督・東京藝術大学大学院教授)

3月27日(月) 浜田真理子(シンガーソングライター)

3月28日(火) 石井健介(ブラインドコミュニケーター)

※石井健介さんをファシリテーターに迎え、観客の皆様とトークセッションをします。

3月29日(水) 宇野邦一(フランス文学者・批評家)

3月30日(木) 原貫太(フリーランス国際協力師)

3月31日(金) 稲葉俊郎(医師、医学博士)

一般 1,800円

学生・シニア 1,300円(証明書の提示が必要)

会員 1,200円(会員証の提示が必要・同伴1名まで同額割引)

障がい者割引 1,200円(手帳の提示が必要・付添いの方1名まで同額割引)

半券提示で一律200円割引(劇場窓口のみ)

※シアター・イメージフォーラムの劇場窓口もしくはウェブサイトにて、ご鑑賞日の3日前からお買い求めいただけます。

学生・シニア・会員料金でご購入の方はご来場当日に証明書をご持参ください。

証明書がない場合は差額分を現金にてお支払いいただきます。

※電話での予約は行っておりません。

※混雑時は座席のご希望に添えない場合がございます。

※クレジットカードはオンライン購入のみご利用いただけます。当日窓口ではクレジットカードはご利用できません。

※館内ではふた付きのお飲物のぞき、ご飲食はできません。

※駐車場・駐輪場はございません。

※エレベーター、エスカレーターはございません。



ハブヒロシ

音楽家 / 遊鼓奏者 / アーティスト

東京造形大学映画専攻卒業。

インドネシア国立芸術大学でのガムラン修行や、セネガルの人間国宝

ドク・ンジャエ・ローズ・ファミリーのもとでのサバードラム修行

など、世界各地の芸能を学び、馬喰町バンドでの音楽活動や、関ジャニ∞や台湾原住民とのレコーディングなど、様々なジャンルで活動する。岡山に移住後、地域づくりに関わりはじめ、小水力発電制作や山菜収穫イベント、疫学研究などに取り組むほか、丹田呼吸法の普及伝承活動もしている。2022年7月よりハーバード大学で社会疫学の研究をするため渡米。現在は、芸能の現在性について考えながらも、出会いと対話のプロセスを形にし、ある種の詩/沈黙のような瞬間に触れることを目指し、主にコミュニティを巡るアートプロジェクトを展開している。

コメント

諏訪敦彦(映画監督・東京藝術大学大学院教授)

劇場に入ると、ステージの上にはスピーカーだけが置かれていて、スクリーンはなかった。しかし、映画が始まる。声が開こえる。ベトナム語や、少し訛りのある日本語や、片言の英語、フランス語が語る故郷の思い出や歴史、風景。川の音や、風の音、楽器の音、そして音楽が作られてゆく。映像はない。しかし、これを「映画」と呼ぶことが素晴らしい。見えることだけがイメージではない。音に包まれ、私たちはいつの間にか見知らぬその土地の空気を深く感受し、自らが映写機となって映像を投影するだろう。そう、これは紛れもなく「映画」なのである。

クレジット

■出演・作曲作詞

グエン・ティ・スエン-Nguyễn Thị Huyền(歌) / ブ・ティ・ザン-Vũ Thị Giang(歌) / ブイ・ティ・ミン・ヒエン-Bùi Thị Minh Hiền(歌) / ファム・ティエン・トゥアン-Phạm Tiến Thuận(歌) / アナイス・ファルジア-Anais Farrugia(歌) / ショーナ・マギー-Seana Magee(歌) / ハブヒロシ-Habu Hiroshi(打楽器・ギター・歌) / 岩本象一-Iwamoto Shouchi(チャランゴ・スチールパン) / コイケ龍一-Koike Ryuichi(親指ピアノ) / 江南泰佐-Enami Taisuke(ピアノ)

■出演

アウン・ティン・ウィン-Aung Tin Win / サン・タ・アウン-San Thet Aung / ニエン・チェン-Nyein Chan / ニュエン・ティ・ズン-Nguyễn Thị Dung / 畠中七瀬 / 本倉宣弘(八幡神社宮司) / 池田将 / 金地宏晃

■サウンドデザイン: 金地宏晃 ■テーマソングミックス: 江南泰佐 ■映像記録: 池田将

■字幕: 仲本拡史 ■予告編: 曾和聖太郎 ■フライヤーデザイン: 坂内友美

■制作: 金ノポベラ舎 ■協力: 高梁市、岡山県文化連盟、逗子アートフィルム、蛭田泰司、伊藤尚哉、隅町珈琲 ■制作・配給: タウンガ合同会社 ■配給協力: Atemo

■翻訳

グエン・ティ・スエン-Nguyễn Thị Huyền / ブ・ティ・ザン-Vũ Thị Giang / アナイス・ファルジア-Anais Farrugia / ショーナ・マギー-Seana Magee / ハブヒロシ

■監督・編集: ハブヒロシ

「音の映画 Our Sounds」特設ウェブサイト

<https://our-sounds.webnode.jp/>



会場: シアター・イメージフォーラム



〒150-0002
東京都渋谷区渋谷2-10-2
03-5766-0114

<https://www.imageforum.co.jp/theatre/>

